

平林金属

「えこ便」新拠点開設

リサイ クル 情報発信機能高める

【岡山】鉄・非鉄・家電など金属リサイクルの平林金属（本社岡山、平林実社長）は8日、資源回収事業「えこ便」の新店舗「並木町局」（岡山市南区並木町）がオープンした。同事業3つ目の拠点で、事務所棟にはリサイクル教室などを開催できるエントランスギャラリーを開設、情報発信

機能を高めた。家庭から出される小型家電やスクラップ、古紙など「片づけ物」を回収するとともに、「正しいリサイクル」を啓発する。えこ便は環境省の「第4回グッドライフアワード」の「環境と循環」部門、日本デザイン振興会の「2016年度グッドデザイン賞」に選ばれた新しい

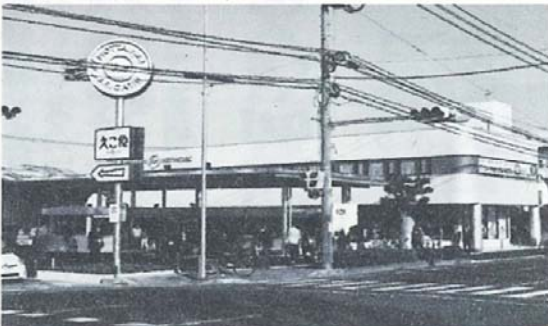
リサイクル事業。デザイン性に優れた拠点を整備し、市街地でのリサイクルという「新しい景観」を創り出している。3拠点すべてに専門スタッフを配置し、利用者とのコミュニケーションを通じて、リサイクルについての情報提供を行う。ポイントカードによる会員制を導入し、利用

者は貯まったポイントでえこ便のオリジナルグッズやNPO法人「いるかスマイル」の運営する就労継続支援事業で作られた雑貨などを、さまざまなグッズと交換できる。オープン前の受付期間での登録会員数は約5000人、今後も会員の増加が見込まれる。1年後を目途に月間120ト

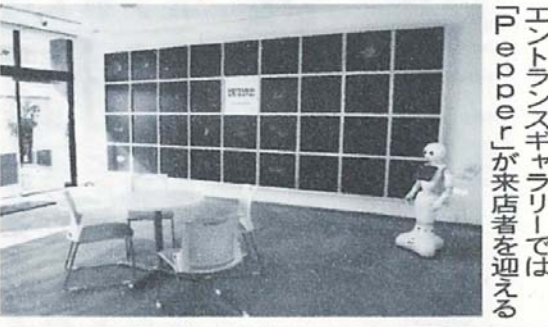
の資源回収を目指す。並木町局は約1000平方メートルの敷地に、鉄骨造300平方メートルの回収施設を建設。敷地内の既存建物（鉄筋コンクリート造、延べ床面積540平方メートル）を改

修し、1階部分を事務所などに利用する。エントランスギャラリーでは人型ロボット「Pepper」（ペッパー）が来店者を迎えるほか、リサイクルの仕組みを紹介する映像放映

やパネル展示を行う。平林社長は「地域の方にえこ便があってもいい利と言ってもらえる拠点をしていきたい」と話す。来年5月には岡山市内にさらに1店舗を開設予定だ。



「並木町局」オープン初日から多数の来店者で賑わった



エントランスギャラリーでは「Pepper」が来店者を迎える